

連結決算補足説明資料

2025 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間

(2024 年 10 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)

2025 年 1 月 30 日

(証券コード：9640)

株式会社セゾンテクノロジー

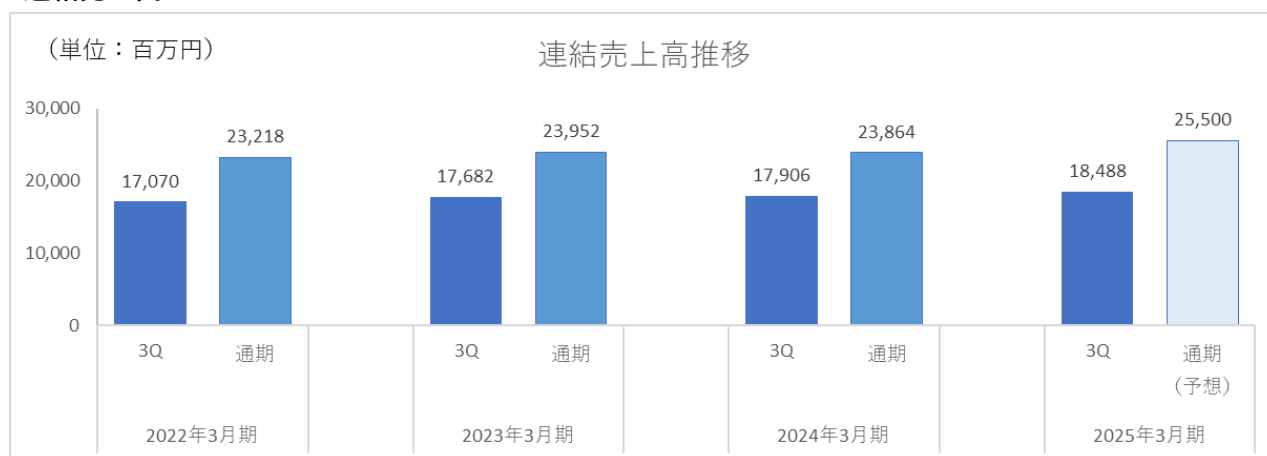
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当第3四半期連結累計期間>

連結売上高は、流通 IT サービス事業におけるシステム開発案件の完了に伴う一時的な売上増加に加えて、データプラットフォーム事業の売上増加等により、18,488 百万円（前年同期比 3.2%増）となりました。通期予想（25,500 百万円）に対する進捗率は、72.5%となりました。

<2024 年 3 月期（通期）>

- フィナンシャル IT サービス事業及び流通 IT サービス事業が縮小したこと等により減収（前年同期比 88 百万円減）。なお、HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業は、予定通り拡大し増収

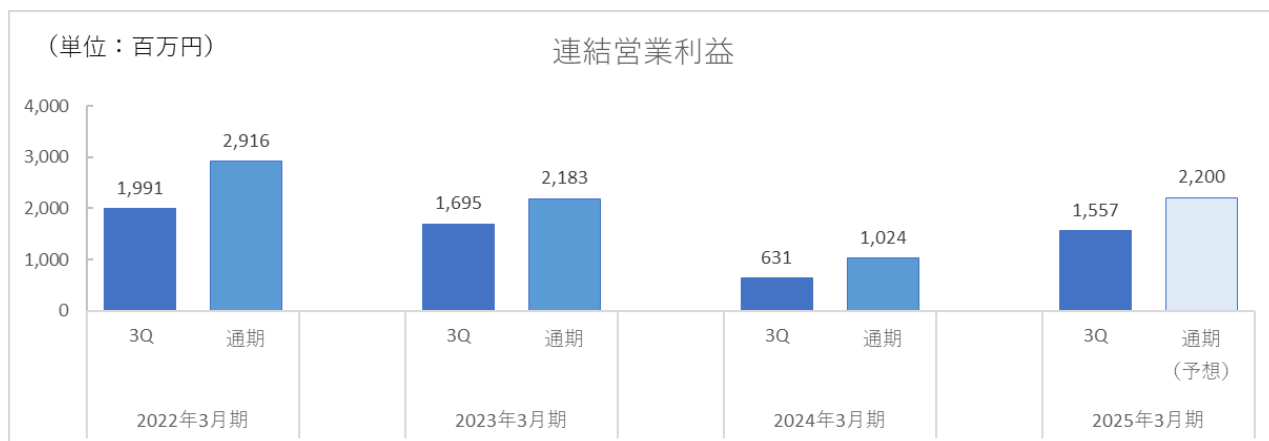
<2023 年 3 月期（通期）>

- HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比 733 百万円増）

<2022 年 3 月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンケージ事業及び HULFT 事業の売上が増加（前年同期比 719 百万円増）

■連結営業利益



<当第3四半期連結累計期間>

連結営業利益は、前第3四半期連結累計期間に受注損失引当金を計上しており、当第3四半期連結累計期間においては受注損失等の臨時的要因は発生していないこと等により、1,557百万円（同146.6%増）となりました。通期予想（2,200百万円）に対しては、進捗率70.8%となりました。

<2024年3月期（通期）>

- HULFT事業が順調に増益となった一方で、流通ITサービス事業において受注損失引当金を計上（前年同期比1,159百万円減）

<2023年3月期（通期）>

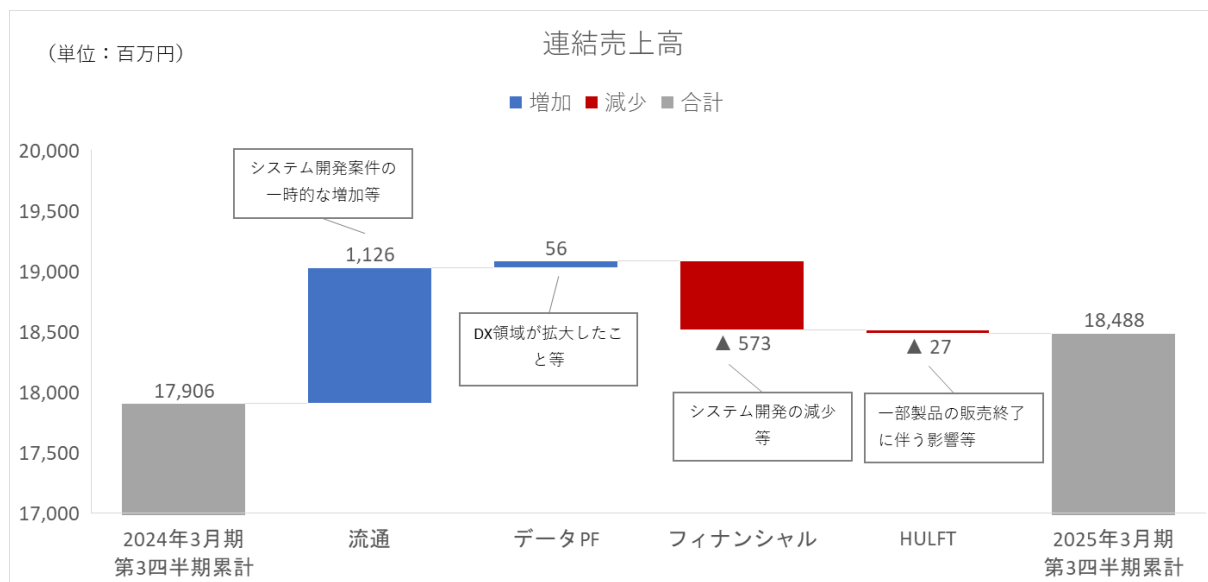
- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比732百万円減）

<2022年3月期（通期）>

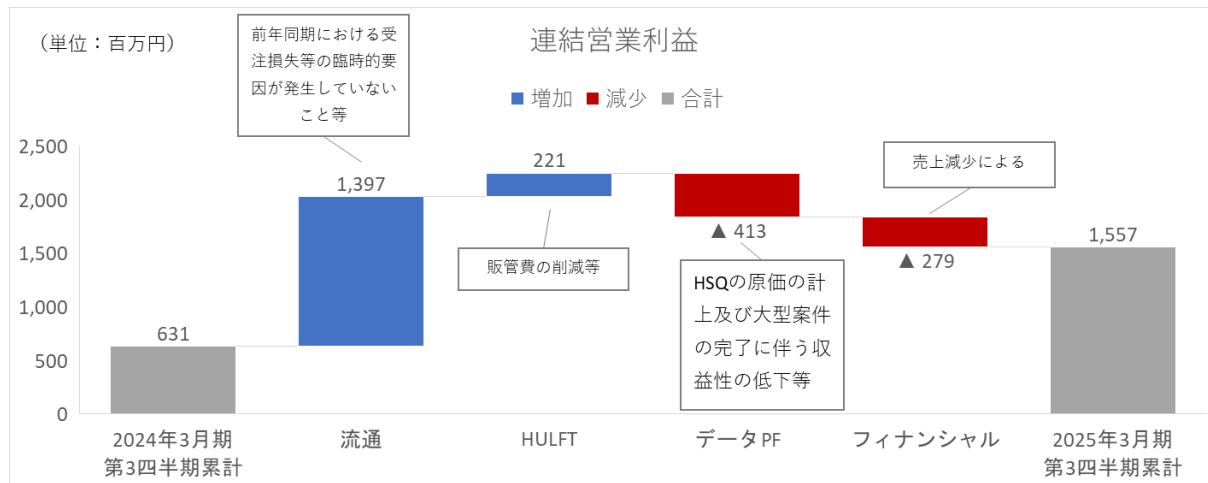
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比72百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



※ セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT：HULFT 事業

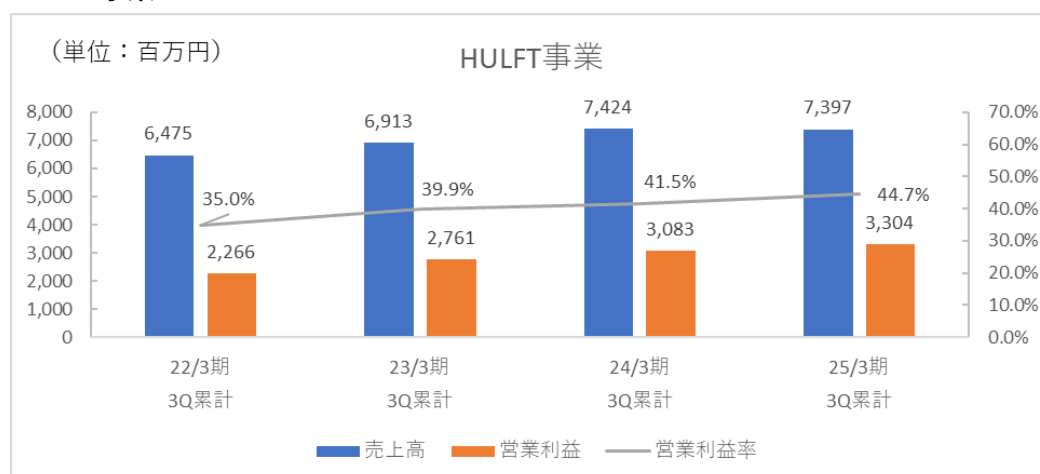
データ PF：データプラットフォーム事業

流通：流通 IT サービス事業

フィナンシャル：フィナンシャル IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当第3四半期累計期間>

- サポートサービスの更新は順調に推移したものの、一部製品（「Dataspider Cloud」）の販売終了に伴う影響等により売上高減少（前年同期比 27 百万円減）
- 販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 221 百万円増）

<2024 年 3 月期第3四半期累計期間>

- ライセンス販売の増加及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 511 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 322 百万円増）

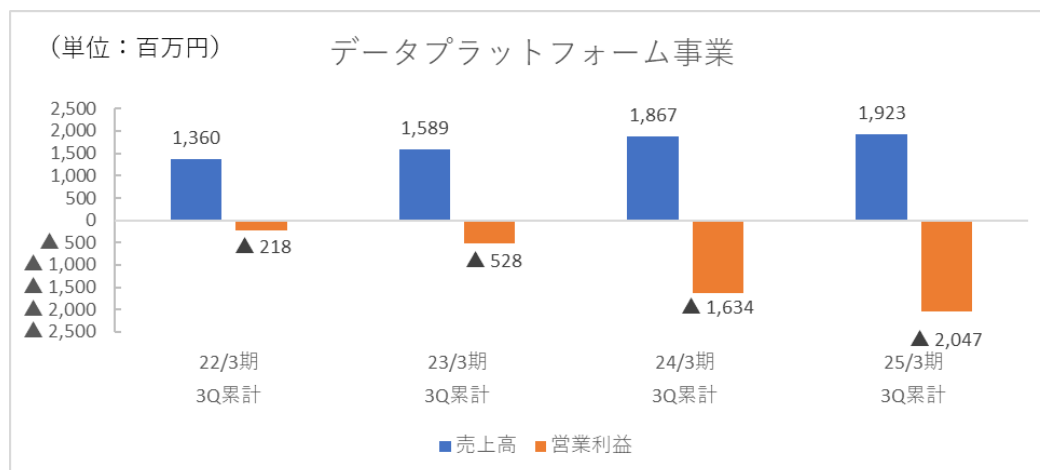
<2023 年 3 月期第3四半期累計期間>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、主要プロダクトである「HULFT」「DataSpider」「HULFT DataCatalog」のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 438 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 494 百万円増）

<2022 年 3 月期第3四半期累計期間>

- 「HULFT」「DataSpider」のサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 174 百万円増）
- お客様への提案モデルの具体化等、営業活動の改善による生産性向上に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 326 百万円増）

② データプラットフォーム事業



2023 年 3 月期から「リンケージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当第 3 四半期連結累計期間（データプラットフォーム事業）>

- DX 領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 56 百万円増）
- 「HULFT Square」の原価の計上及び大型案件の完了に伴う収益性の低下等により、2,047 百万円の営業損失（前年同期は 1,634 百万円の営業損失）

<2024 年第 3 四半期連結累計期間（データプラットフォーム事業）>

- DX 領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 277 百万円増）
- サービスの立ち上げフェーズである「HULFT Square」の原価の計上等により 1,634 百万円の営業損失（前年同期は 528 百万円の営業損失）

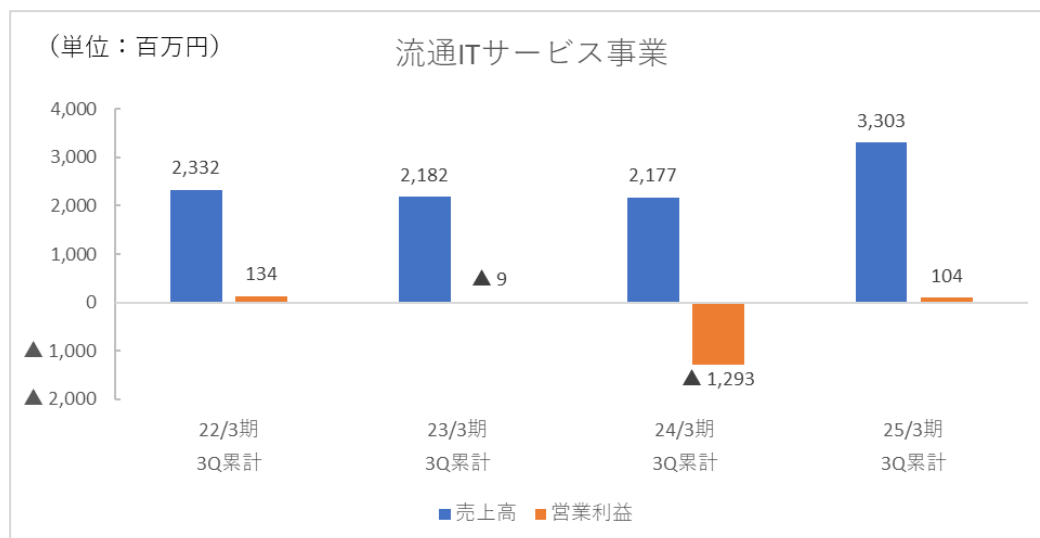
<2023 年 3 月期第 3 四半期累計期間（データプラットフォーム事業）>

- モダンファイナンスサービス及びデータ連携基盤構築サービスの売上拡大等により売上高増加（前年同期比 229 百万円増）
- 今後の DX 案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により 528 百万円の営業損失（前年同期は 218 百万円の営業損失）

<2022 年 3 月期第 3 四半期累計期間（リンケージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 435 百万円増）
- 上記サービスの拡大に伴う 1 人当たり売上高及び 1 人当たり売上総利益の改善による収益性向上に伴い、営業損失は 218 百万円（前年同期は 417 百万円の営業損失）まで改善

③ 流通 IT サービス事業



<当第3四半期累計期間>

- システム開発案件の一時的な増加等により、売上高増加（前年同期比 1,126 百万円増）
- 前第3四半期連結累計期間に受注損失引当金を計上している一方、当第3四半期連結累計期間においては受注損失等の臨時的要因は発生していないこと等により、104 百万円の営業利益（前年同期は 1,293 百万円の営業損失）

<2024 年 3 月期第3四半期累計期間>

- お客様の IT 投資が回復してきているものの、既存領域における情報処理サービスの減少等により、売上高減少（前年同期比 4 百万円減）
- 開発を進めていた一部プロジェクトに高負荷が発生したことにより、この立て直しに必要な今後の開発コストとして、受注損失引当金繰入額 1,272 百万円を売上原価に計上したこと等により 1,293 百万円の営業損失（前年同期は 9 百万円の営業損失）

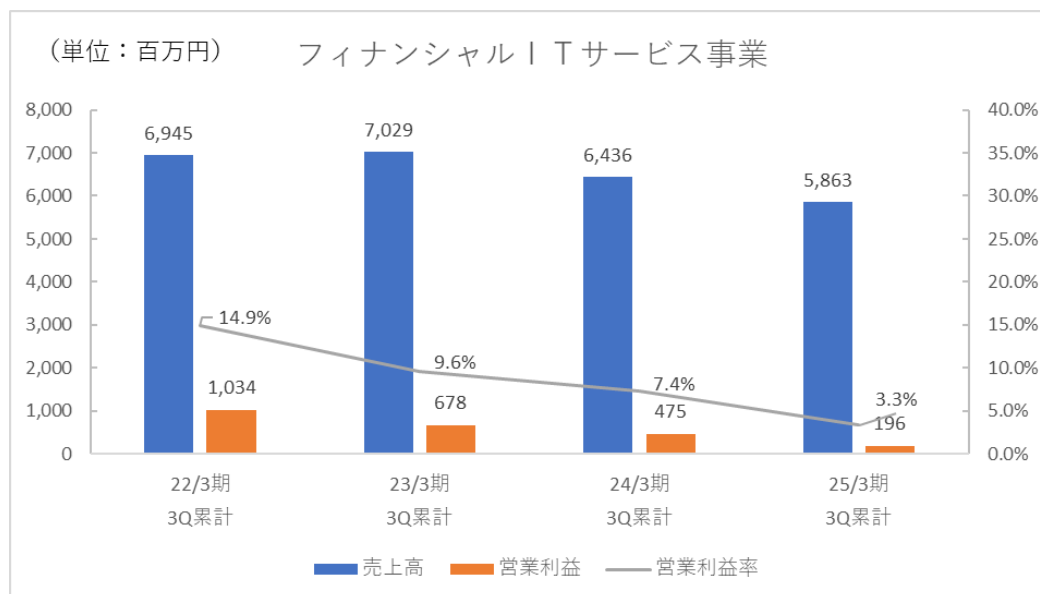
<2023 年 3 月期第3四半期累計期間>

- 当社の強みが活きる DX 領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比 150 百万円減）
- 売上高の減少に伴い 9 百万円の営業損失（前年同期は 134 百万円の営業利益）

<2022 年 3 月期第3四半期累計期間>

- 既存領域に係るシステム開発の減少等に伴い売上高減少（前年同期比 22 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 1 百万円減）

④ フィナンシャル IT サービス事業



<当第3四半期累計期間>

- システム開発案件の減少等により売上高減少（前年同期比 573 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 279 百万円減）

<2024 年 3 月期第3四半期累計期間>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比 593 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 203 百万円減）

<2023 年 3 月期第3四半期累計期間>

- 新規サービス提供が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 84 百万円増）
- 前年同期に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比 355 百万円減）

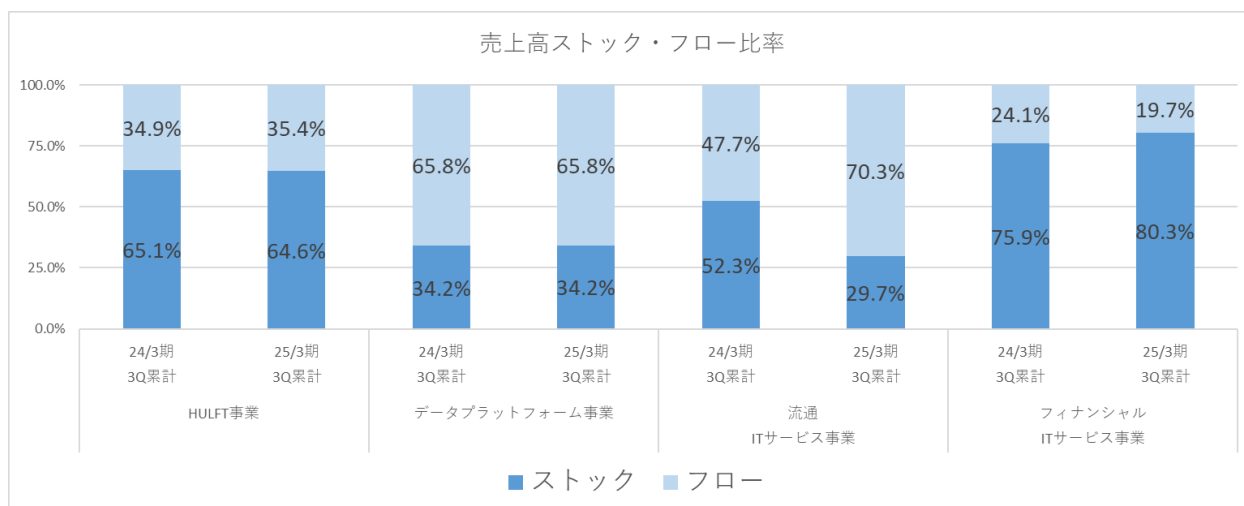
<2022 年 3 月期第3四半期累計期間>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供が進展した一方、既存領域に係る売上の減少等に伴い売上高減少（前年同期比 361 百万円減）
- 一部利益率の高い案件の前倒しや業務改善による売上総利益の向上に伴い、営業利益増加（前年同期比 159 百万円増）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2024 年 10 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）

AI を活用した決算説明動画（英語版）公開のお知らせ

- 当社が目指すテクノロジーを通じたより良い未来の実装への取り組みの一環として、AI を活用した社長葉山による、2025 年 3 月期第 2 四半期（中間期）決算説明動画（英語版）を公開いたしました。

[FY2025 Q2 \(Interim\) Financial Results Presentation Video](#)（外部サーバーへ接続します。）

「HULFT8」のバージョンアップ版「HULFT10」リリースのお知らせ

- 2024 年 2 月に提供開始したパブリッククラウドのコンテナサービス対応版に続き、12 月にオンプレミスシステム対応版をリリースいたしました。従前のファイル転送ミドルウェア機能に加えて、クラウドからオンプレミスまで、あらゆる IT システムの境界線を越えてつなぐことをコンセプトに「利用範囲拡大」「運用性向上」「セキュリティ強化」に注力して機能を強化いたしました。今後も企業の情報システム内に混在するあらゆるデータを安全・安心、確実に転送するファイル連携の更なる進化と、新しい技術とのデータ融合等、データ連携・データ活用を通してお客様のビジネス変革を支援してまいります。

ビジネスレポート 2025（上半期）発行のお知らせ

※外部サイトへリンクいたします。

40 歳以上の全社員を対象にスリープテックを本格導入～ 睡眠時無呼吸症候群など睡眠課題に対して専門医の受診補助や予防を目指したデータ活用にも注力 ～

- 社員の心身の健康向上を支援する一環として実施していた睡眠検査について、対象者を 40 歳以上の全社員に拡大し 11 月より本格実施しました。睡眠時無呼吸症候群は生活習慣病を合併しやすく、放置すると心筋梗塞や脳卒中などの発症リスクが高まることが報告されています。セゾンテクノロジーはマテリアリティ（重要課題）のひとつに「人」を設定しており、社員の健康向上を支援することはその根幹と考えています。睡眠検査結果を勤怠データや運動習慣などのデータともつなぎ、睡眠課題との相関を探り、事前にリスクを把握し予防に役立てられるようデータ活用も進めていきたいと考えております。

「TOKIUM 経費精算」とセゾンテクノロジー「HULFT Square」の連携ソリューションを提供 開始～企業の経費精算に関わるシステム間の連携業務を自動化し経理業務などを効率化～

- 株式会社 TOKIUM の経費精算クラウド「TOKIUM 経費精算」と、セゾンテクノロジーの日本発 iPaaS クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の連携ソリューションの提供を開始しました。「TOKIUM 経費精算」から「HULFT Square」を経由して、既存のオンプレミスやクラウドで利用する会計システムや人事システムなどと連携することで、システム間でのデータ連携の自動化や業務プロセスの効率化を実現し、日常発生する経理担当者の手作業や重複チェックなどの業務を低減します。本連携ソリューションを機に両社の連携をさらに広げ、お客さまの業務効率化を支援してまいります。

Google Cloud Partner Top Engineer 2025 を受賞 若手エンジニアが 2 年連続で選出

- Google Cloud パートナー企業所属エンジニアの活動を表彰する「Google Cloud Partner Top Engineer 2025」に当社若手エンジニアが選出されました。同社員は、昨年に引き続き 2 年連続の選出となりました。今後も IT 業界における重要技術への取組みを継続してまいります。

「HULFT Square」の内部統制を評価する 国際セキュリティ認証 SOC2 Type2 保証報告書を受領

- 「HULFT Square」において、内部統制の国際セキュリティ認証である SOC2 Type2 保証報告書を 2024 年 10 月 31 日に受領いたしました。2023 年 7 月 15 日を基準日として受領した SOC2 Type1 保証報告書に続いての受領となります。今回の受領は、外部監査人による第三者の立場から、「HULFT Square」のシステム上のセキュリティ要件が国際基準を継続して満たしているとの評価を受けることで、サービスをお客様が安全・安心にご利用いただくことを目的としております。

寄付 + α の 1day プロボノ開始 ～初回は AI を活用したアクセシブルな書籍製作相談会～

- 2020 年以來、前年度営業利益の 1%に相当する寄付を行い、2023 年からは、当社ミッションおよびマテリアリティ（重要課題）に関連した活動を行う非営利団体を寄付対象とし、寄付先を当社重点課題に知見を持つ専門家として捉え、継続的なコミュニケーションを通じて課題理解と信頼関係の醸成に努めてまいりました。その中で、多くの団体では IT 人材が十分とはいえず、金銭的支援と同等以上に、本業での取り組みや事業支援が課題解決に有効であるとの認識を重ね、このたび寄付先の声を踏まえた 1day プロボノプログラムを新たに開始いたします。本プログラムは、これまで培った一定の相互理解の下、当社ビジネスにつなげることを目的とせず、1 日完結を原則とすることで双方の負担やリスクを軽減しつつ、寄付先のテクノロジーを使った事業発展と、当社の有識者知見を踏まえた製品・サービスの開発の加速をともに図るものです。初回で協業した日本点字図書館では、ボランティアの減少や高齢化に伴う視覚障害者向け書籍製作への影響への対策として AI 等テクノロジーの活用を検討されており、AI や新規システム開発、アクセシビリティ、法務等に携わる当社社員が、構想の実現可能性や留意点等について客観的な助言を行いました。本プログラムで得られる知見や現場の声をもとに、これからもさらに社会課題への解像度を上げ、事業における貢献を強化してまいります。

寄付の詳細と当社のサステナビリティに関する取り組みは、[公式サイト](#)もご覧ください。

「第 13 回 NIPPON IT チャリティ駅伝」に賛同しスポンサーとして協賛しました

- 2024 年 11 月 10 日（日）に開催された「第 13 回 NIPPON IT チャリティ駅伝」（主催：NIPPON IT チャリティ駅伝 実行委員会）にスペシャルゼッケンスポンサーとして協賛しました。2010 年から開催されている本大会は、悩みを抱える未就労者の社会復帰を支援することを主な目的に企画されています。当社は、駅伝というスポーツを通じて参加者同士が協力しあい、タスキをつないで走ることが未来を担う若者の支援につながるというテーマに賛同し、協賛社として大会をサポートするとともに、社内からランナーを募り 9 チーム 45 名が大会に出場しました。

DataSpider Servista 4.5 リリース

- 2024 年 11 月 6 日（水）に、DataSpider Servista 4.5 をリリースいたしました。CLI Console の機能強化による運用自動化、ScriptRunner の機能強化、Studio for Web の機能拡充等をいたしました。

Findy Team+ Award 2024 を受賞 2年連続でソフトウェア開発生産性が高評価獲得

- ファインディ株式会社が主催する「Findy Team+ Award 2024」にて「Team Award Quick Success Division」を受賞しました。受賞したのは、クラウドネイティブなデータ基盤と他システムとの連携を支援する「HULFT10 for Container Services」開発チームで、開発生産性スコアを短期間で大幅に改善した点が評価されました。セゾンテクノロジーは、「Findy Team+」の利用開始以降、2年連続の受賞となります。

Red Hat Japan Partner Awards 2024 にて「Red Hat Japan ISV Partner of the Year」を受賞

- レッドハット株式会社の Red Hat Japan Partner Awards 2024 にて「Red Hat Japan ISV Partner of the Year」を受賞しました。Red Hat Japan Partner Awards 2024 は、レッドハット社が持つオープンソース・テクノロジーを活用し、継続的に革新的なソリューションの開発と実装に成功した日本のパートナー企業を表彰するものです。セゾンテクノロジーは、Red Hat OpenShift 上で稼働する ファイル連携ミドルウェア「HULFT10 for Container Platform」のリリースを 2025 年 3 月に予定しています。この製品は、メインフレームなどを対象としたレガシーモダナイゼーションや共通データ連携基盤の課題を解決するため、レッドハット社との Co-Creation ソリューションとして創出されました。今後はこの Co-Creation をもとに Sler と共創し、さまざまな業界のお客様がデジタル・トランスフォーメーションを加速できるよう支援してまいります。

「Japan DX Week 秋 2024」の「社内業務 DX EXPO（10 月 23 日～25 日）」に出展しました

- 「Japan DX Week 秋 2024」の「社内業務 DX EXPO」に出展しました。セゾンテクノロジーは、データ・AI 活用を支援する「つなぐスペシャリスト」として、社内外のデータを連携し、AI 活用を含むさまざまな業務効率化を実践した事例をご紹介しました。また、自社の新しいサービス iPaaS「HULFT Square」の展示も行いました。

ウイングアーク 1 s t 「MotionBoard」「Dr.Sum」とセゾンテクノロジー「HULFT Square」の連携ソリューションを提供開始

- ウイングアーク 1 s t 社の BI ダッシュボード「MotionBoard Cloud」、データ分析基盤「Dr.Sum Cloud」と、セゾンテクノロジーの日本発 iPaaS クラウド型データ連携プラットフォーム「HULFT Square」の連携ソリューションを 10 月 9 日（水）より提供開始することを発表しました。本連携を機に両社の協業をさらに深め、情報の持つ価値を最大限に高めながらお客さまのデータ利活用やビジネス変革を支援してまいります。

「HULFT」が、AWS ファンデーションナリテクニカルレビュー（FTR）を通過し AWS 認定ソフトウェアとなりました

- ファイル連携ミドルウェア「HULFT」が、AWS のファンデーションナリテクニカルレビュー（FTR）を通過し、「AWS 認定ソフトウェア」として認定されました。お客様システムのクラウド移行が進み、AWS で HULFT が利用される例が年々増えています。そのような背景から、2024 年 2 月より、コンテナベースの「HULFT10 for Container Services」を AWS Marketplace 上で販売しています。FTR の通過により、AWS の利用においても高い安全性と信頼を提供するソフトウェアであることが認定されました。今後もお客様に安心してご利用いただける高品質な製品を開発してまいります。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾンテクノロジー

経営管理統括部 経営管理部

Tel：03-6370-2930

URL：<https://www.saison-technology.com/>